

市民総合センター、公民館を利用される皆さまへ

3つの密を避けましょう

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話が発生する密接場面

集団感染の発生を避けるために気をつけましょう ※裏面「新しい生活様式の実践例」参照

① 市民総合センターに来られる前に

検温をしましょう。37.5度以上の発熱(または、平熱より1度以上高い場合)や風邪の症状がある場合は、来館をご遠慮ください。

② 市民総合センターに入館したら

- ・マスクを着用してください。
- ・こまめな手洗いやアルコール消毒液で手指を消毒してください。
- ・人との間隔は、できるだけ2メートル空け、ソーシャルディスタンスを確保しましょう。
- ・ロビーなどの共有スペースでは、長時間の滞在を避けましょう。

③ 各種受付、申請時のお願い

- 受付や鍵の受け渡し等は、総合案内のカウンターで行いますが、原則代表者1名での対応をお願いします。
- 各室の使用できる人数を制限しています。下記の定員一覧をご確認のうえ、利用人数に応じた会場の予約をお願いします。
また、陶芸窯は、必要最小限の人数での使用とします。
- 定員一覧

部屋名	定員	部屋名	定員
会議室1・2	6人程度	展示ホール	34人程度
会議室3	5人程度	音楽室	20人程度
会議室4	25人程度	和室	11人程度
視聴覚室	20人程度	料理室	14人程度
相談室	5人程度	ギャラリー (ちびっこプレイルーム)	使用不可
実習室	14人程度		

- 活動内容・会場によっては、利用制限があります。感染リスクを避け、感染拡大を防止するため、ご理解、ご協力をお願いします。
例) ・大きな声を発したり、動きの激しい活動は、定員以下での活動をお願いする場合があります。

部屋の使用にあたって

- ① マスクを着用してください。
- ② 会話をするときや席の配置は、真正面を避けましょう。
- ③ 扉、窓(2方向)を開け、部屋の換気をしましょう。(冷暖房使用時も換気してください。)音など近隣に迷惑を及ぼすなど常時換気が困難な活動については、30分に数分間の換気を行いましょう。
- ④ 人との間隔は、できるだけ2メートル空け、接触しないようにしましょう。
- ⑤ こまめな手洗いやアルコール消毒液で手指を消毒しましょう
- ⑥ 熱中症予防のため、こまめな水分補給は必要です。ポットの貸し出しは中止しています。接触感染を避けるため、飲み物は各自で用意しましょう。
- ⑦ 他者と共有する物品やドアノブなど、手が触れる場面を最小限にする工夫をしましょう。鼻水や唾液などがついたゴミはビニール袋等に入れて密封し、各自でお持ち帰りください。
- ⑧ 利用者の氏名、連絡先を把握し、名簿を作成しておきましょう。
新型コロナウイルス感染症予防対策及び感染者や感染の疑いのある人が発生した場合に、速やかな連携が図れるよう、所轄保健所等との連絡体制を整えるためのものです。団体内で感染者や感染の疑いのある人が発生した場合は、速やかな名簿の提出をお願いします。
- ⑨ 活動中に体調を崩された方がいる場合は、事務所までお知らせください。

国・府の動向や施設内で感染者が発生した場合は、休館することがあります。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m(最低1m)**空ける。
- 遊びに行くなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときには、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う(手指消毒薬の使用も可)

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「**3密**」の回避(密集、密接、密閉)
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

